

## 1. 気象概況（中野市長丘地区気象ロボット観測データによる）

月間	旬別	上旬		中旬		下旬		月間		特記・コメント
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
4月	平均気温（℃）	10.6	8.1	11.0	9.7	11.4	11.9	11.0	9.9	月間平年比+1.1℃
4月	降水量（mm）	11.0	23.3	23.0	14.3	24.5	20.8	58.5	58.4	月間平年比100%
4月	日照量（h）	80.8	72.1	68.4	75.5	73.8	73.6	223.0	221.2	月間平年比101%

## 2023 4月気象ポイント

- ◆ 気温：最高気温 28.1℃（4/29） 最低気温 -3.4℃（4/25）
- ◆ 夏日観測：5日 26.0℃（4/6）、26.5（4/11）、26.7℃（4/20）、25.4℃（4/28）、28.1℃（4/29）
- ◆ 降水量：上旬平年比 47%（極少） 中旬平年比 161%（極多） 下旬平年比 118%（やや多） 4/26 13.0 mm観測
- ◆ 日照量：上旬平年比 112%（やや多） 中旬平年比 90%（やや少） 下旬平年比 100%（並）
- ◆ 氷点下以下観測：上旬 5回 中旬 2回 下旬 2回 \* -3.2℃（4/10）、-3.4℃（4/25）凍霜害被害発生

## 2. 生産の経過・病害虫発生状況・今後の対策

凍霜害：4/10、4/25 低温遭遇（-3.2℃、-3.4℃）。アスパラガス被害あり。果樹類、シャクヤク経過観察中。  
リンゴ・ナシ・サクランボ等で雌しべ・胚珠の褐変、プラム・モモは幼果の枯死、柿・キウイは新芽の枯死など散見。  
結実が判明していないため、結実量については5月10日頃調査予定。

加温ハウス（4/24）：サクランボ 12棟。（R5計画 13棟） 初出荷：4月2日。3～4月の気温が高く、生育前倒し。

：ハウスもも 1棟 被覆（12/30）加温開始（1/1）発芽（1/29）開花（2/4） 初出荷：5/1（予定）

：ぶどう棟数は昨年並み。初出荷は4月下旬頃。出荷進度は早める見込み。シャインピーク 8月初旬頃。

## ① 生育情報

現状、平年比△10～12日。4月も温暖な気象経過で、さらに生育が進むことも予想される。

開花：太陽 4/2、白鳳 4/6、佐藤錦 4/9、南水 4/10、ラフランス 4/11、ふじ 4/16

満開：太陽 4/6、白鳳 4/11、佐藤錦 4/14、南水 4/13、ラフランス 4/13、ふじ 4/21

## ② 生産基盤 2023（推定）

ぶどう 230ha・りんご 144ha・もも 86ha・プラム 35ha・和梨 10ha・桜桃 7ha・柿 6ha・西洋梨 5ha

## ③ 立ち木 2023

防霜ファン設置園は動作確認後、稼働する。

結実不安定な品目、品種は必ず人工授粉・相互交配を行ない、結実確保に努める。

## ④ ぶどう 2023

- ◆ 全体：シャイン・ルージュ自然増見込。巨峰・パープル面積減見込。ぶどう全体の生産量は昨対 110～115%を見込む。
- ◆ 発芽：巨峰 4/16、シャイン 4/19 \* 平年比 9日早い
- ◆ 開花予想：巨峰 5/31頃、シャイン 6/3頃 \* 平年比 7日早い見込み
- ◆ 天候不順により、全域で発芽のバラツキ大きい。このまま推移すれば、樹勢や仕立てにより開花のバラツキが大きいと見込まれる。
- ◆ カイガラムシ類・スカシバ・ケムシ類の越冬世代の発生は平年より早い傾向。

## ⑤ 病害虫 2023 重点対策

- ◆ 黒とう病：小豆大時の粒感染防止強化（生育が進んでいる場合は7日間隔で防除等）
- ◆ ぶどう主幹害虫：越冬害虫の発生早い模様。現状では被害なし。
- ◆ リンゴ腐らん病：R7年ベフラン液剤 25販売終了に伴い、腐らん病の発生密度が高まると予想される。  
重症（骨格枝の半周以上が罹患）の場合は切除する。小枝・中枝が感染している場合も同様。  
軽症で削り取りを行なう場合は茶色く変色している部分が残らないよう処理する。  
剪定後は、塗布剤（トップジンMペースト等）を塗布する。
- ◆ リンゴ黒星病：重点防除期間中。4/7降水量 9mm。4/18降水量 9mm。引き続き防除を徹底する。
- ◆ ももせん孔細菌病：4/20時点。春型枝病斑の発生を確認。現状少発生だが見つけ次第除去へ。